

介護保険の適用対象

へたりにくく、ながもち!

衝撃緩和型畳床

しょうげきかんわがたたたみどこ



販売店

連絡先

秘密は裏面をご確認ください!

介護保険の適用対象

JIS
A5917
準拠

衝撃緩和型畳床 とは？

安心安全を追及して、畳のやさしさに
衝撃緩和性をプラスしました。

緩衝性

精密機器の緩衝材にも使用されるカネカの「エペラン®」を使用しており、強度および柔軟性に優れています。

断熱性

カネカの「エペラン®」「カネライトフォーム®」を使用し、独立気泡構造により熱や冷気を遮ります。

耐水性

すべての素材が樹脂で構成されており、水に強く、劣化を防ぐことができます。
(畳表、縁を除く)

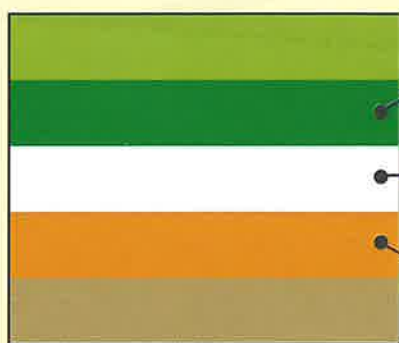
耐久性

簡易な層構成の畳床と違い、5万回繰り返し圧縮してもほとんどへこみません。
(カネカ社内試験)

複雑な層の応力分散による衝撃の緩和

衝撃緩和型畳は「応力分散」により衝撃を受け止め緩和します。
転倒時のリスクを抑え、よりやさしい畳を実現しています。

衝撃緩和型畳床の構造



① 耐衝撃

特殊形状の樹脂材が衝撃を緩和しつつ、適度な踏みごこちで歩きやすさを与えます。

② 緩衝材

「エペラン®」は非常に柔軟で割れにくく、緩衝包装材や物流資材に使用されています。

③ 断熱材

「カネライトフォーム®」は独立した気泡構造により断熱性・耐水性に優れています。

※「エペラン®」「カネライトフォーム®」は(株)カネカの登録商標ですので、本商品構成の畳床/畳製品の商品名としては使用しないでください。

※こちらで記載している測定データは一例であり保証値ではありません。